

会長挨拶 石橋 文

## 朝焼け



最近夜の残業をやめて朝早く事務所に行って仕事をしています。小江原から青山経由です。下る途中、向かい側にある山の稜線が朝焼けの中にくっきりと浮かび上がってとてもきれいです。山の向こう側の東の空は下のほうがオレンジ色で日によってはその色が少し違うなあと感じていましたが、改めて調べてみると、雨になる日は朝焼けは赤く染まっているそうです。これは、空気中の水蒸気が多いことが原因で、梅雨時期は空気中に水蒸気が多くなっているため、より鮮やかな朝焼けや夕焼けになる可能性が高くなるということだそうです。晴れる日の朝焼けは、ピンク色からオレンジ色、そして黄色と順に明るい色に変わっていくそうです。私が目にしたのはきっと晴れる日の朝焼けだったと思います。きれいだなあとぼーっとしか見てなかったのですが、天気予報もできるとは思いもしなかったです。

### 【幹事報告】

- 3月1日(水)は休会です。
- ポリオワンコイン募金のご協力をお願いいたします。
- 2月25日(土)に、佐賀RC創立70周年記念式典が行われます。岩永パストガバナー、辻村ガバナー補佐、石橋会長、南里幹事が出席いたします。
- 本日2月22日(水)に引き続き、3月8日(水)、3月15日(水)の例会時も、アストピアが確定申告場になっています。長崎新聞社の駐車場に止められなかった場合は、近隣の駐車場に止めてください。次回領収書をお持ちいただき清算致します。ご不便をおかけしますが、何卒、ご協力を宜しくお願いいたします。
- 例会後、定例理事会です。



幹事  
南里 敏洋

今後の  
予定

- 3月1日(水) 休会
- 3月8日(水) 創立50周年記念事業クラブ会議
- 3月15日(水) イニシエーションスピーチ  
榎屋健会友

### ニコニコBOX

石橋: 前回は例会出席できず申し訳ありませんでした。高木副会長、会長あいさつ、ありがとうございます。花粉も飛び始めて、もうすぐ春です。本日もよろしくお願いします。

南里: 先日はIM参加の皆さま、ご出席いただきありがとうございました。

草野: IM出席の皆様、おつかれ様でした。仕事の関係で夜だけの出席になり、申し訳ありません。石橋会長、報告よろしくお願いします。

坂本: 本日もよろしくお願いします。

辻村: 19日 日曜日 IM。会友の皆様、無事に終了することが出来、深く感謝申し上げます。有難うご座いました。

丸木: 本日の卓話IM報告です。石橋会長、南里幹事、よろしくお願いします。



ニコニコ発表  
榎屋会友

## IM報告

2022~2023年度  
国際ロータリー第2740地区  
第9・10グループ  
インターシティミーティング(IM)  
開催日: 令和5年2月19日(日)

### 【石橋文会長の報告】

令和5年2月19日(日)、出島メッセにてインターシティミーティング(IM)プログラムが開催されました。ホストクラブ: 長崎南RC会長の石丸利行様の点鐘から国歌斉唱、ロータリーソング「奉仕の理想」の後、中牟田真一IM実行委員長の歓迎の言葉、石丸利行会長により上村春甫ガバナー、塚崎パストガバナーが来賓として紹介されました。また、IMの目的として第9、第10グループの親睦と知識を深めること、ロータリーの情報を伝えることについて話されました。次に、辻村栄蔵第9グループガバナー補佐、鶴田修第10グループガバナー補佐が各クラブの紹介をされ、上村春甫第2740地区ガバナーがご挨拶をされました。その後休憩をはさんで文化シンポジウムが開催されました。文化シンポジウムのテーマは「長崎を語る」として、シンポジストは長崎大学多文化社会学部教授 木村直樹氏、長崎放送(株)業務局長の塚田恵子氏、コーディネーターは長崎市長崎研究所所長 赤瀬浩氏により行われました。まず、それぞれの経歴などをご本人が話されました。木村直樹教授は東京都出身で、東京大学資料編纂所を経て長崎大学多文化社会学部の教授として長崎に来られています。専門は日本近世史で著書には長崎に関する「長崎奉行の歴史」や「大学的長崎ガイド」などがあります。出身は東村山市でトトロに登場する地名が近くにあり、小さい頃は学校で農業経験もあるというところで東京といっても意外と田舎のようです。東村山市といえば志村けんが有名ですが、市役所の窓口に志村けんにそっくりなお兄さんがいて驚いたという話もありました。1920年の国勢調査では長崎市は九州で第1位の都市で、当時の西日本新聞に、福岡は今後どう考えても長崎にはなれないから、熊本をめざそうと言っている記事があるそうです。印象的でうれしかったのは、今、長崎は人口流出が問題とされていますが、人が減るということをマイナスに考えておられないことです。人が減ると人を大切にする、そうすると今までと別の世界になる(?)50年、100年先は今と違う世界があるという新しい視点です。長崎について苦言をというコーディネーターに対して、長崎市は水道代が高い、東京では1m<sup>3</sup>あたり100円くらいですが、長崎市は200円くらいだということです。意外な情報でした。次に塚田恵子氏ですが、北九州市生まれで早稲田大学卒業後長崎放送にアナウンサーとして入社され、今は管理職として業務局長ですが、ラジオインタビュー番組「あの人この歌あ人生」のパーソナリティを続けられており、迎えたゲストの数は900人を超えるということです。会場におられたロータリーの会友の方の中にもそのゲストによべられた方がおられました。塚田恵子氏はアナウンサー志望で、福岡の放送局は全部男子アナウンサーの募集しかなく、長崎放送が唯一女子アナウンサーを募集していたので、応募して受かったのが長崎との縁の始まりということでした。その時代は私もその5年前に就職したのですが、男性と女性との差があったのを記憶しています。また原爆はもともと小倉に落とされる予定だったのがその日雲がかかっていたので長崎に落とされたんだというおばあちゃんからの話を、小さい頃から聞いていたということです。塚田氏の話で印象的だったのは、定住人口にこだわらない、交流人口が増えればいいのではという言葉です。長崎を訪れる人が

小計: 6名/¥15,000

累計: 298名/¥737,000



多くなることで、長崎が活気を帯びてくればいいなあと  
 思います。長崎は来る人を拒まない、また世界的に来てみ  
 たい場所のひとつと言われているそうです。長崎は潜在的  
 なものを持っているから、いいところをもっと前に出して  
 いけばいいと木村直樹氏も言っておられました。コーディネ  
 ーターの赤瀬浩氏は長崎市旧市街の町屋に生まれ、長崎  
 大学を卒業後長崎県公立学校教員を経て、長崎市長崎学  
 研究所の所長として歴史解説をされています。亡き越中  
 哲也さんを承継されているのかなあと感じました。赤瀬氏  
 については、南里さんにご報告をおまかせしたいと思い  
 ます。

#### 【南里敏洋幹事の報告】

当クラブからの出席者は、辻村会友、森義彦会友、杉本会友、  
 浜本会友、久保田会友、田中徳之会友、草野会友、早崎会友、  
 下川会友、吉田会友、石橋会長、私と、事務局の尾野さんにも  
 来ていただき、計13名の参加でした。ホストクラブの長崎  
 南RCの司会、山田晃会友の挨拶から始まり、石丸利行会長の  
 点鐘で幕開けとなりました。今回は、コロナ禍の中、3年  
 ぶりの懇親会ありのインターシティミーティングとなりました  
 が、懇親会を開催するか否かは最後まで悩んだ果てに、  
 最終決断は第9、10グループの両ガバナー補佐の決断  
 にゆだねられて開催に漕ぎつけたとのことで、懇親会開催  
 が、我々が辻村ガバナー補佐の胸三寸にかかっていたと  
 思うと、辻村ガバナー補佐のこの懇親会にかけける思いが  
 とても強く感じられました。ガバナー補佐あいさつでは、  
 第9グループ辻村ガバナー補佐のクラブ紹介で、福江RC  
 は、環境美化目的であぶんぜ海岸の清掃活動。福江中央  
 RCは、中高生の弁論大会。長崎西RCは、マリア園の奉仕  
 活動。長崎琴海RCは、時津子ども食堂「はこべら」等の活動  
 報告がございました。第10グループの鶴田ガバナー補佐  
 のクラブ紹介で、長崎北RC会員数75名は、独自の交流  
 ルートで112名の留学生に奨学金準備。長崎南RC会員数  
 70名は、青少年委員会でラグビージュニア大会が15年目。  
 長崎東RC会員数37名は、児童養育施設明星園での活動、  
 少年剣道大会等の開催。長崎みなとRC会員数29名は、地域  
 社会への貢献、FB・Instagram・ツイッターを駆使して  
 の広報活動。長崎中央RC会員数47名は、出席率94.5%で  
 創設来の高出席率とのこと、あしなが育英会への補助活動。  
 出島RC会員数71名は、児童養護、長崎スポーツフェスタ、  
 中でも、中学生に対して地元で働く職場案内の説明として、  
 各会友様が会社のブースを設けての仕事紹介は好評との  
 ことでした。文化シンポジウムの中身につきましては、先  
 ほど石橋会長の話にございましたように、「長崎を語る」  
 というテーマで、長崎市長崎学研究所所長の赤瀬浩先生  
 がコーディネーターを務め、シンポジストの長崎大学多  
 文化社会学部教授の木村直樹先生、長崎放送株式会社の  
 業務局長の塚田恵子アナウンサーの3人での座談会形式  
 のお話でした。その中で、私の印象に残ったところが  
 一つありました。当時の長崎は、海外からのあらゆる文化、  
 情報の玄関口的な場所でもとても繁栄していたとのこと  
 でした。福岡が地元の西日本新聞の記事に、これからの博多  
 は、長崎にはなれないが、2番手の熊本には追い付き追い  
 越そうと書かれていたそうです。今となれば、宮崎市にも  
 人口比率で抜かれてしまい人口減少に歯止めがかからない  
 状況です。なので次回の市長選には、私が立候補して長崎  
 をよみがえらせようと思う気持ちになりました。長崎の  
 よさを再認識できとてもいい内容でしたが、正直なところ、  
 14時55分から始まり16時45分までの約2時間を、3人  
 での座談会形式でのお話は、少し長く感じられてしま  
 いました。それと会場温度が少し低く寒く感じられました  
 ので、来たる50周年の時は、その点にも注意して臨機応変  
 に対応できるようにやっていけたらいいなと、ある意味  
 勉強になりました。それから場所をホテルニュー長崎に  
 変えての3年ぶりの懇親会が開催されました。辻村ガバ  
 ナー補佐の乾杯の音頭から華やかに始まりました。まず

は恒例のハミングバードの合唱からスタートです。アン  
 コールも含めて計4曲の歌を披露されました。1曲目の  
 合唱は、失礼な言い方ですが、予想以上にきれいな歌声で  
 プロみたいで素敵だとびっくりいたしました。しかし、  
 曲を追うごとにそうではなくなりました…。後からお聞き  
 すると平均年齢が78歳ということで、むしろそれを聞くと、  
 改めてすごいなと感心いたしました。現在、当クラブ  
 からもハミングバードへ入会する方を1人出してください  
 とお願いがきているとのことです。お歌やカラオケがご趣味  
 の会友様がいらっしゃいましたら、是非辻村ガバナー補佐  
 までお声かけくださいませ。お願い致します。食事の席では  
 各会友の方々が他クラブの方とも交流されていて、イン  
 ターシティミーティングの趣旨である「親睦、知識、ロー  
 タリー情報」が行われてとてもよかったと思いました。



インターシティミーティング  
 2月19日(日) 14時～ 出島メッセ長崎



第1部 式典・文化シンポジウム



IM実行委員長 中牟田真一様





来賓紹介 ホストクラブ会長 石丸利行様



文化シンポジウム  
テーマ「長崎を語る」



第9グループガバナー補佐 辻村栄蔵様



長崎市長崎学研究所 所長  
赤瀬浩氏(コーディネーター)



第10グループガバナー補佐 鶴田修様



長崎大学 多文化社会学部 教授  
木村直樹氏(シンポジスト)



ガバナー挨拶 上村春甫様



長崎放送(株) 業務局長  
塚田恵子氏(シンポジスト)





閉会の言葉 IM コ・ホストクラブ  
会長 山本きよみ様



ハミングバーズの合唱披露



第2部 懇親会  
挨拶 鶴田ガバナー補佐



万歳三唱 第2740地区幹事 山下雄司様



乾杯 辻村ガバナー補佐



記念写真

司 会 / 吉田鉄矢  
写真撮影 / 田中智幸

創 立 / 昭和49年4月30日  
承 認 / 昭和49年5月22日  
例会日 / 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 / 長崎新聞文化ホール「アストピア」

事務局 / 長崎市目覚町8-11-301  
TEL843-6635/FAX845-9411  
URL <http://nerotary.org/>

本日のメニュー



	全員総数	Home Club 出席数	Home Club 欠席数	Make-up 免除者	修正出席率	出席率
2月1日	39	27	9	3	83.3	
2月22日	39	25	12	2		67.6

月間出席率	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
前年度	76.2	83.8	83.8	78.7	80.6	77.8	80.6	0	78	78.1	72.6	82
本年度	75.9	74.3	80.8	65.4	74.7	73.2	64.3					